

# 鎌倉建長寺 “さわる”模型プロジェクト





## 関係者ご挨拶



### 建長寺一同

視覚障害の方が建長寺にきて何もさわるものがない。心に残るものがない。さわる模型があればどんなにうれしいか。大下さんの言葉にとて深く考えさせられました。ぜひ建長寺仏殿のさわる模型を作りたい、心から強く思いました。

私たちもこのさわる模型を通して、ユニバーサルな境内環境作りを学んでいきたいと思えます。

### 田邊能久（製作担当）

私は20数年前より建長寺境内で、重要文化財建造物の保存修理業務に携わっています。

「寺社仏閣を盲の子達が訪れても、感じ取れることがないのです」と初めて聞いたとき、頭をハンマーで殴られた様な衝撃を受けました。視覚障がいのある方の事を全く意識していなかった事を明確に自覚したのです。

先日、3D試作品を全盲の方と共に触れる機会を頂いた時には、指先から丁寧で慎重に読み取る様子、湧き出る言の葉の数々、表情の輝き・感動で胸が高鳴りました。

この“さわる”模型は、障害のない方々にとっても普段見ることのできない角度から観察できる等、すべての人々にとって有意義な活用が考えられます。ここでの取り組みは日本初となり、全国のあらゆる文化財や建造物に広がることで歴史文化の継承に寄与できたならば、これほど嬉しいことはありません。



### 田中麻未也（製作担当）

私は普段は建築デザインの仕事をしています。今回は模型製作・3Dやデジタル関連の担当をしています。

建築設計、特に公共建築に携わっていると、多くの障害を持った方への配慮が求められます。例えば、点字ブロックは配置やサイズ・色など、その設計指針が条例で定められており、私はいままではそれに従うことが障害者の方に対して「配慮」だと思っていました。

しかし、これまでの「配慮」が最低限のことに過ぎず、このプロジェクトの目指している「健常者も障害者も一緒に建築を楽しむ」という事が全く実現できていなかったと知り、大いに反省しました。このプロジェクトは公共の空間に携わったことのある人にとって無関係な話ではありませんし、もっと多くの場所で実現されるべき一歩だと考えています。



### 岡本志郎（アドバイザー）

誰もがさわれる「歴史的建造物模型」で、目の見える人・見えない人、みんなと一緒に、発見・感動・喜び・思い出を分かちあえます。一人でも多くの方々と、そんな素敵な明日を作れたら最高だと思って参加しています。



### 久保田恭子・光一（広報担当）

息子は生まれつき視覚障害があり、盲学校に通っています。視覚から得る情報が、ほとんど無いので、さわる事が、とても大切です。

先日、模型の試作品をさわらせてもらって、屋根の上の構造や窓の形に興味を示して、立派な建物に感動していました。私も仏殿を俯瞰で見れることで、建物の歴史や背景を感じられることに驚きました。

### 岸綾・いろは（広報担当）

見えないことでできないことが多い世の中です。一緒にできることを生まれた時から探し、楽しんできました。そんな楽しみが増えることを、全国に広がることを、楽しみにしています！



### 大下利栄子（発起人）

視覚障害なんて誰も興味ないよね… そう思って15年間活動してきました。が、このプロジェクトが始まってから思いがけなく多くの方が共感し、自分事として言葉をかけてくださいました。それは多くの場合涙を伴い、心の深いところにつながっているような感覚がありました。

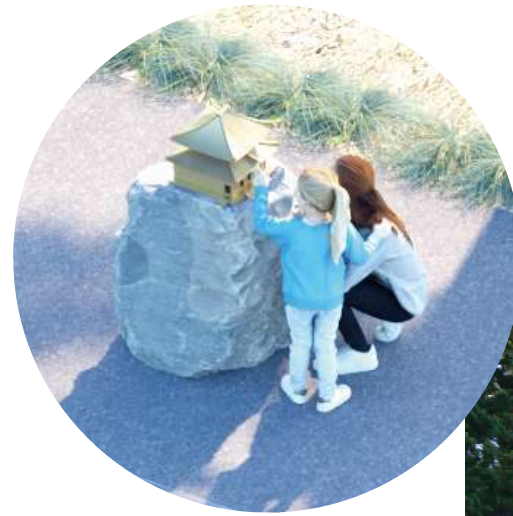
鎌倉を代表する建長寺様はお寺を上げて応援すると言ってください、パルシステム様は破格の助成を決定された上「取り組みに敬意を表します」とのお言葉まで…これまでの日常で何度嬉し泣きをしたことか知れません。一方でこのプロジェクトを紹介すると、「見えない人が建物が分からないなんて考えたこともなかった」と100%言われます。知ってもらっただけでも障害理解につながるなら、こんな嬉しいことはありません。

模型を囲みいろいろな人が集い、お互いちょっと身近な存在になったら…今、そんな日が来ることを夢見ています。





目の見える人も見えない人も  
分け隔てなく  
感動を分かち合える  
世の中をつくりたい



私たちは鎌倉・建長寺様ご協力のもと、誰もがさわって楽しめる歴史的建造物の“さわる”模型（ユニバーサル模型）をつくるプロジェクトを始動しました。

国の重要文化財にも指定される建長寺仏殿の1/50ミニチュアブロンズ模型を制作し、建長寺境内への設置を目指すプロジェクトです。

今回制作する建長寺仏殿の“さわる”模型は決して“障害者専用”ではありません。老若男女、障害の有無に関わらず、誰でも見てさわることができるものです。

見えない人はさわって建物の形がわかるようになり、見える人には鳥瞰図といった新しい視点を、“さわる”模型は与えてくれるでしょう。

特に目の見えない人にとって、手のひらから得る情報は非常に重要です。しかしながら、有名な景色や歴史的建造物も「見る」観光ばかりで、「触れられる」観光はこれまでほとんどありませんでした。

見える人も見えない人も隔てなく模型を囲み、喜びや発見を分かち合う。そんな誰もが共に生きる未来への夢を託し、その道を照らす灯として模型はここにたたずみ、その歩みを見届けてくれるでしょう。子どもたちに少しでも良い未来を渡せるように…

## 臨済宗建長寺派大本山建長寺

神奈川県鎌倉市に鎮座する建長寺は、鎌倉五山第一位、臨済宗建長寺派の本山です。

1253(建長5)年、鎌倉幕府第5代執権北条時頼が中国(宋)の高僧蘭溪道隆を迎えて創建した日本最初の禅宗専門道場で、幕府と強い結びつきがありました。鎌倉時代末期の寺の僧侶や関係者は、千人にもものぼる数であったと伝わります。

ご本尊の地蔵菩薩坐像をお祀りする仏殿は、国の重要文化財に指定されています。





## 台座の庵治石

“さわる”模型の台座になるのは、「花崗岩のダイヤモンド」と言われる高級ブランド石、香川県の庵治石(あじいし)です。

と言うのも、墓石などの製品にするには小さな傷も許されず、9割以上が捨てられてしまうとのこと。そんな美しい自然石を安価で譲っていただき、遠く鎌倉の地で大切に使用させていただきます。

今回の“さわる”模型は、このように細部にまで想いがこもった温かい芸術作品です。お金のため・見せるためではなく、人のためになるという喜びを感じながら熱く取り組む仲間たちはこのプロジェクトの何よりの自慢です。

お力添えのお申し出や応援のお言葉は、今に至るまで途切れることはありません。「模型が完成することも大事ですが、多くの方の心に響き、それが心ある同志に伝播していくことはもっと素晴らしいこと」(千田鎌倉副市長)。多くの善意が凝縮され、今ここに模型がある、それは「感謝」と共に未来への「希望」そのものです。



## さわるといふこと

京都の蓮華王院三十三間堂へ娘と一緒にいった時のエピソードを紹介します。

国宝に指定される三十三間堂には、本堂の出口に近い廊下に「さわってOK」とのマークが付いた、建物の模型が置いてあります。娘が模型をさわって始めてしばらくすると、なんと「三十三間堂なのに、35あるよ」と言い出したのです。

えっ!?!と驚いた私が、通りがかった御僧侶をつかまえてお尋ねすると「両端に廊下があるので、その分だけ1つずつ余計にあるんです。そうです、だから35で正解です」とおっしゃいました。

さらに娘は、「柱の間隔が正面より後ろ側のほうが狭いです」と言うのです。これについては、「柱の間隔は同じなんです、後ろ側は明かりを取る必要がないので、壁が多くなっています。反対側は、朝夕、天皇が、仏様に向かい合うので、上から下まで開けられるようになっているから、壁が少ないのです」とおっしゃいました。

「一般の人より、よほど理解が深いですわ」と、御僧侶。視覚健常者であっても気が付く方が少ない中で、“さわって知る”ことの驚きや面白さ、可能性を強く感じた瞬間でした。気が付くと周囲には人だかりができ、話が終わると子供たちが「さわりたい!」と寄ってきて一緒に楽しんでいきました。

三十三間堂は千体もの観音像で有名ですが、その千手観音像のレプリカもさわることができます。

大切な信仰の対象をさわってもいいのかとお尋ねすると、御僧侶は「目の不自由な人のためになるなら、それをふさわしくないと言う人はいなかった」、そして「人として、お寺として、そこに疑問を持ったらいけない」とおっしゃいました。私は深い敬意を覚え、三十三間堂は今も私にとって、思い出す度温かい気持ちがある特別な場所になっています。

障害者は、断られたり受け入れられなかったりという経験をたくさん持つ人々です。建長寺の“さわる”模型が、そうした人々にとって、私の三十三間堂のような温かく特別な場所になることを、私は切に願っています。

そして“さわる”模型の先に夢見るのは、“さわること”も“見ること”と同じように誰もが楽しむことができ、新しい発見を互いに分かち合える、今より2倍豊かになった世界です。盲目の娘との歳月にどれだけの驚きや発見があり、日々が豊かになったか…それは私自身、繰り返し経験してきたことに他なりません。

建長寺“さわる”模型には、そんな夢も託しています。





# ブロンズ模型の制作プロセス

どのようにブロンズ模型を作ってきたのか、その制作プロセスを紹介します。

## ①3D データの作成・調達

今回は、東京大学生産技術研究所腰原研究室が2022年に行った耐震補強の調査の際に作成した3Dデータをご提供いただきました。また多くの重要文化財は耐震補強の際に3Dでの解析を行うため、データの作成を行う事例が多いので、今後「さわる模型」の普及にも活用出来ると思います。



## ②樹脂でのサンプル制作

ブロンズで模型を制作する前に、触った感覚や大きさを確認するため、3Dプリンターを使って樹脂による模型を作成しました。これを実際に目の見えない方に触ってヒアリングを行い、どの程度まで認識できるのか、触って安全か、など確認を行いました。



## ③3D データの編集・制作限界の把握

樹脂模型でのヒアリングの結果、できる限り詳細に建物を表現するという方針が決まりました。

しかしここで制作上の問題が発生します。例えば、今回の仏殿では屋根の垂木と呼ばれる部位は原寸では1.6ミリ程度の棒が放射状に並んでおり、鋳造するには小さすぎて作れない事が分かりました。



## ④制作方法の検討

鋳造での技術的な限界が分かった所で、2つの選択肢がありました。ひとつは細部を原寸通りではなく、シンプルにデフォルメし、制作すること。もうひとつは、鋳造以外の方法で制作を検討することでした。もう一つの方法とは5軸加工機※による切削加工でした。これら二つと鋳造を行える企業を探したところ、「キャストム」と「JMC」という二つの会社が候補に上がりました。

## ⑤制作方法の決定

2社との制作の相談を進めていく内、ベースとなる鋳造を「キャストム」が行い、鋳造したものの切削加工を「JMC」が行うという日本を代表する鋳造技術をもった企業のコラボレーションによって制作する方針が決まりました。

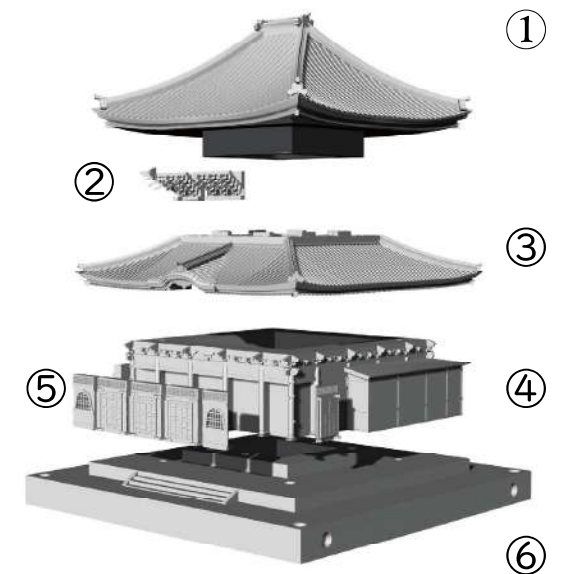
## ⑥分割し組み合わせる

最終的に仏殿を①上屋根+垂木②詰め組③下屋根④一階の壁・柱⑤扉や窓⑥基礎・土台部分の6つに分けて制作します。これはそれぞれに適した加工方法を選びつつ、破損の際にも修復・交換がしやすく、重たいブロンズ模型の運搬が簡単になる工夫でもあります。

## ⑦完成へ

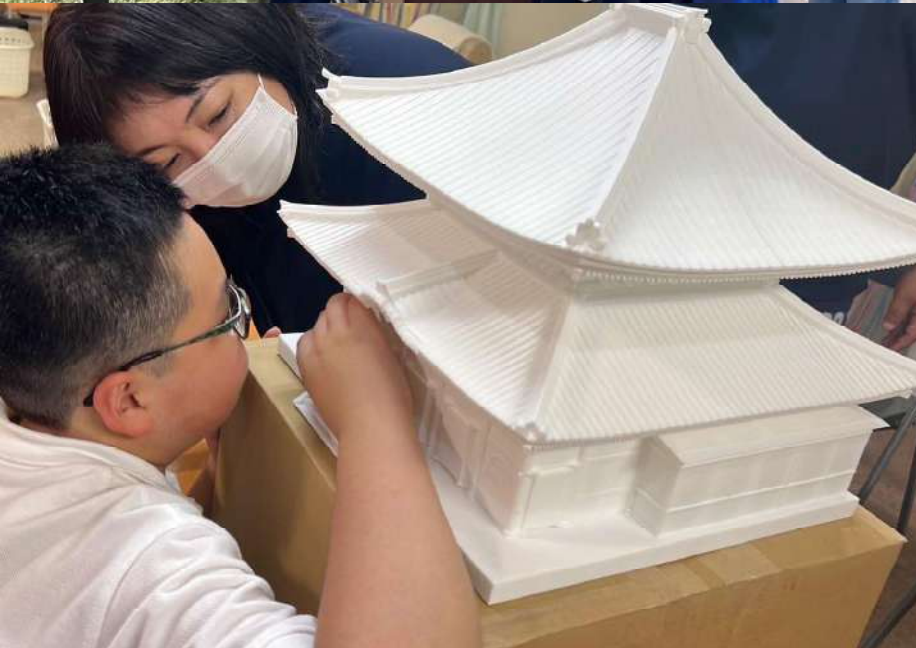
こうして作られたブロンズ模型は、今みなさんの目の前にあります。どうぞ存分に触って、見比べてください。そして願わくば、大切な誰かと思いを共有する一助になればと思います。

分割イメージ



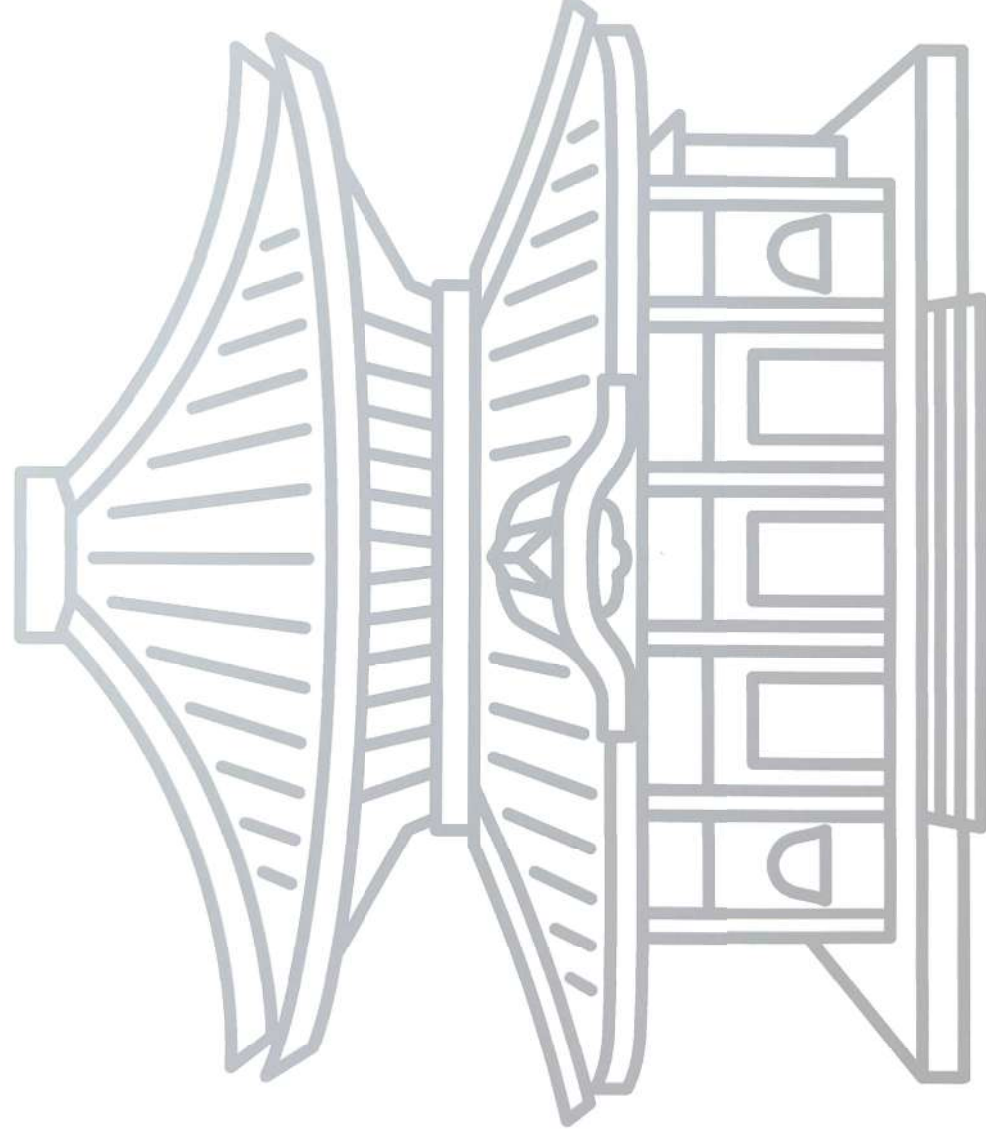
鋳造のプロセス 鋳型造形→鋳造→脱型







目を閉じて、さわってみましょう



(冊子には触図が入ります)



# クラウドファンディングの記録

- 2023年
- 6月1日公開 初日54名、86万5千円、17%!  
その日の「注目のプロジェクト」に掲載
- 6月8日 公開1週間で、122名のご寄付、200万円(40%)到達
- 6月16日 300万円(60%)到達
- 7月14日16時58分 目標額500万円達成!  
ネクストゴール750万円挑戦開始
- 7月28日公開終了 406名、654万5千円、130%達成



## クラウドファンディングをふりかえって ～数字に見る、共感され応援されるべきプロジェクトの証～

- ◆ 支援率がページ訪問者の9%(RF平均の3倍以上)と非常に高かった。  
これはプロジェクトが届き支援しようと思ってくれた人が多かったということ。
- ◆ 小口支援(5千円と1万円)が支援数で85%、金額で46%と一番多かった。  
大型プロジェクトでは通常、大口>中口>小口。ここまで大きなプロジェクトでこの比率は大変特徴的。人数の多さは素晴らしく、広まるという観点でもすごくよかった。それだけ多くの人の共感を得、アクションにもつながっているということは、誇ってよい。
- ◆ 応援コメント記入率も66%と高い。想いを伝えたい人が多かった。
- ◆ ページへの訪問やご支援も止まることがなかった。特に「活動報告」メールから常に100人以上、最終日は250人が訪問された。これはしっかり見守ってくださっている方が多いことの証。
- ◆ READYFOR担当者からも「皆さんのプロジェクトを担当できて本当に幸せでした」。ボランティアとして今後も関わってくださるとのお申し出をいただいた。

(数字・コメント提供:READYFOR)

# 皆様とともに..

斎藤俊一  
23/06/18

「見えなくても旅の感動と一緒に」とは素晴らしい取り組みだと思いました。建長寺から全国に広がることを期待しています。  
亡き父が、点字図書館への寄付を長年にわたって続けていたことを思い出しました。存命であればこの取組みに賛同したことと思います。



斎藤俊一様、お心のこもったメッセージをありがとうございました。長年のご寄付に込めたお父様の願い、それを間近で見えていた斎藤様の愛情、この模型をきっかけにお寄せくださったお二人の温かいお心を、本日父の日にしかと受け止めました。そのお気持ちに報いられるよう誠心誠意取り組むことをお約束します。完成の暁には私もお父様に思いを馳せて報告申し上げます。温かいご支援を本当に有難うございました。

とらまめ  
23/07/03

誰もが当たり前文化財観光を楽しむ社会をつくる取組を応援します。



とらまめ様、力強い応援をありがとうございます!想いを同じくしてくださる方がいらっしゃるだけで励みになります。日本人として歴史ある文化財を誇る気持ちは同じなのに、1とゼロではあまりに寂しい...こんな方法があると知った以上つくりたい、せめて0.2くらいになったら嬉しいです。5分ながめること、30分じっくりさわること、新しい気づきもきっとある...ご支援に心より感謝申し上げます。

ばあば  
23/07/07

今日は3人のお友達の代行です。ゴールが見えてきましたね。もう一息頑張りましょう!



ばあば様、もう5回目です!いったいばあば様はどういう方で、どうしてご寄付くださる方がお近くにそんなにいらっしゃるのですか?そういう方を探し情報お届けするのに私は日々頭を悩ませていて、ばあば様の人脈は驚異です!この模型にそんなにご共感くださる方っていい...?お心を寄せてくださり深く感謝申し上げます。お友達の方々にもくれぐれもよろしくお伝えください。

かつお丸  
23/07/23

皆さまの努力で素敵な夢が現実になることを知りました。体に気をつけて最後までがんばってください。



かつお丸様、あたたかいお言葉心に沁み入ります。私たちが知ってくださっている方でしょうか?本当に、私にとってもこれは夢が現実になる軌跡、と思っております。どこに問い合わせてもダメ出しだけだった年月は確かにあり、撤退を余儀なくされたことも。それでも責めずに温かく接して下さった方がいて...はい、最後まで頑張ります!お言葉嬉しくご支援に心より感謝申し上げます。

sykfj2718362  
23/07/26

鎌倉から全国へ、ご活動が広がっていくことを心からお祈り申し上げますとともに、微力ながら応援させていただきます。プロジェクトご関係者のみなさまは大変お忙しいことと存じますので、くれぐれもお体ご自愛ください。応援しております!!



sykfj2718362様、大変丁寧なお気遣い溢れるメッセージ、心より嬉しく感謝申し上げます。おそらく私たちに近い方でいらっしゃるのですね。メッセージから溢れる情熱、共感、一緒に走ってくださっているようなお言葉、どれほど嬉しいことでしょう。結局は一人、自分がやらない、と思うことも多い中、温かいお気持ちに慰められます。個人の想いのプロジェクトなので大金は望めなくても、こういうご縁こそが尊いと感じます。お気持ちとご支援に深く感謝申し上げます。

安藤直明  
23/07/28

頑張ってください!



安藤直明様、ご支援に心より感謝致します。100年後、今を知る人がいなくなっても模型は建長寺様に佇んでいます。白い杖を持った子どもがゆっくり手をはわせ、お母さんが「これが模型の第一号なんだって」。子どもは「そんなの?ない時代もあったの?」そんな会話が交わされているかも...今の夢が未来の日常になりますように。その軌跡を見守ってください。ご支援本当に有難うございました。



# クラウドファンディングにご支援くださった皆様です

(ご希望者のみ、敬称略、順不同)

羽根田 池田典義 難波悦子 Midori  
小島幸男 森 裕行 古橋辰雄・一代・チロ  
株式会社アイネット 株式会社梓設計横浜支社

澤崎弘美 星 祐子 中嶋伴子 早見雄二郎 琥珀月花  
池田泰子 渡部直子 待井寿郎 唯井英夫 石川由紀  
アリスの会 点訳きつつき 公益財団法人社会貢献支援財団

長尾宏道 高宮 靖 水原秀元 金石万希 濱崎雄三 長谷川美香  
庄司千香 NARIYUKI そらみ 富山マユミ kiyotan けんたろう  
宮田幸治 奥山幸猛 中村正春 服部憲哉 Miyori 久保田恭子  
石塚直登 永春幸子 頼本順子 佐野芳子 駒場真弓 田辺由美子  
渡辺光子 攪上久子 清水春美 菅 倫明 TZ アトリエあうん  
五味まさみ 齋藤 和卓・千夏・なつ希 全盲の武志 西郷光太郎  
Tiny Little e-room カフェテール葉山

村川真理子 黒瀬聖子 水澤麻美 岩崎千鶴子 岩崎正義 PARADIS  
大島泰子 南谷和範 中部省三 山田亮子 三科聡子 土佐いづみ  
高橋幸男 岸 綾 大島祐美 櫻 怜哉 中野成紀 u.Nakamura  
渡邊信恵 平野武士 中川美季子 森 恭子 小田原洋子 きままじゃけん  
志村克己 齋藤邦彦 安保美沙 篠塚陽子 なお たもちゃんファミリー  
森山恵子 井上貴美子 湯澤大地 渡辺真由子 KEC ワタナベヨーイチ  
武良研二 熊田充男 大島宏文 林 浩一 エコ おはなしおばさん  
北山雅子 金子幸代 中村拓哉 細尾倫子 MT みほとけ(野口実穂)

# お心を寄せてくださり本当にありがとうございました

杉崎敦子 山岡涼子 柏倉魁斗 吉澤徹哉 中川 昇 林 君子・正毅  
山下順子 新井万里子 志村律子 Kometto 保科優子 遼子規キンジロ  
友永知子 眞中裕子 中村和平 Mariko いろは takumayu mama  
平田真弓 田中忠祥 志村陽子 佐藤 聡 太田由紀枝 ユニパーくん  
らんちゃん 渡部ひろ子 立澤裕介 吉澤徹哉 大谷 淳 男前がえる  
永井沙蓉 岡田まりこ 花田琢也 西村博司 チャリツモ Tonion177  
染谷直俊 Junpey 西川 啓 中村絵里子 ひろ サタケスタジオ  
中野泰志 ウマさん 安藤菜穂子 古市理代(りんごプロジェクト)  
りーぷりんぐ アフターブーケのカナックス 株式会社ウィニングフィールド  
朗読ボランティアグループわかはや会/わかはや会有志

久保田里織 院田悦子 院田雅紀 星野由美 福山玲子 小林正輝 IKUKOYOGA  
川崎雅子 中溪裕子 山本志保 石川富美子 おぎたん 門倉貴浩 Miki Kirillov  
藤井紀子 川田真理子 マリゴン 岡本真(arg) さとう 牛込好恵 コロンネりか  
小林夏実 鈴木宏子 上城宇翔 藤井佳子 鈴木真弓 堀 由紀 長沼敬憲・恭子  
島村聡子 鈴木邦彦 松島宏佑 宮本治子 武田米子 H.H 飯村誠一郎・玲子  
郷原啓介 佐藤 鈴 鈴木裕斗 中山貞子 M.Kawabe とも レインボーステイ  
板倉由実 中村慧睦 小原啓子 山口ゆりか 黒田千鶴子 Koba まみーた(大澤真美)  
鎌倉幸子 島岡由真 オオワ 中村聡子 岩成千里 iKUMi やなさわ@面白法人  
酒井司郎 四十沢靖子 古川 憲 矢部一美 加藤圭太 Yuki 古川順子・前澤悦子  
石成美和子 山口 敦 梅田和子 青木六花 小酒部真理 sugi コーヒーさん  
藤原晃代 古澤心優 yumichin 小酒部慶次郎 Sagano Akko about your city  
しゅんくん、りんちゃん、あつくん 絵本コーディネーター東條知美 アクションポート横浜  
パルシステム共済連 Appleseed English school 一般社団法人イーデンホール

他254名(個人・企業・団体)



## 応援団からの声 (一部抜粋)



建長寺の境内から山門の先に進むと、荘厳な仏殿(国重文)が眼前に現れます。その圧倒的な存在感に息のみ、そして安心感に包まれます。しかし、私の隣に、目の見えない友人と一緒にいたならば、その空間の情報は限られ、じっと佇んでいることになるでしょう。そこに仏殿の姿形を手で触れる「ミニチュアブロンズ模型」があれば、二人は感動を共有し、語り合うことができるのです。寧ろ、私には意識すら及ばなかった、屋根の形式が一般的な禅宗の仏殿とは異なる寄棟造であることや、方三間裳階付の大建築であることを、私に楽しく語ってくれるかもしれません。このプロジェクトは、障がい者の支援にも繋がりますが、異なる視点や感性、価値観が共有でき、それを可視化できる可能性のある取り組みです。「支援」という考え方ではなく、お互いに「気づき」、「得るもの」がそこにはあるのです。あなたが、君が、みんながいてくれて良かった、そんなお互いに豊かな共生社会になるような、一燈照隅の取り組みになると思います。

(鎌倉市副市長 千田勝一郎様)



本プロジェクトがここまで進んできたことにとっても感激しています。代表から、世界遺産ベレンの塔のミニチュアブロンズ模型の写真を見せていただいたときの感動と、これを日本で実現したいと熱く語っていた姿は、今も忘れることはできません。本プロジェクト発足当初、湘南近郊で模型にしたい建造物や地区を一つひとつ回り、現場や関係者との調整に、いつも真正面からまっすぐな気持ちを伝えてきた真摯な姿を見ていました。今回のプロジェクト企画の根底には揺るがない想いがあり、その想いに共感している関係者の皆さまの気持ちが幾重にも重なっています。きっと、どんなことがあっても歩み続けるのだらうと確信しています。ユニバーサル絵本との出会いの時から、代表の想像力と行動力に驚かされ続けてきた応援者の一人として、本プロジェクトの成功を心より応援いたします。

(一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 代表 手塚明美様)



「掌や指先で見る」体験は、「目で見る」ことに慣れた人にとっても、驚きや発見に満ちています。目の前に広がる景色をいろいろな人といろいろな見方で楽しめたら、これほど素敵なことはありません！見える人も見えない人も、手で見る世界を知ること、違いは特別なことではないと気づくことでしょう。建長寺から、鎌倉の地から、温かい気持ちが広がっていくことを願っています。

(アリスの会 澤崎弘美様)



応募申請書に記されたユニリーフさんの「熱い想い」とともにプロジェクトの「先進性」「重要性」「発展性」への評価もさることながら、助成金だけでなく、多くの方の賛同を得るための、クラウドファンディングに挑戦する「積極性」も評価が高かったポイントでした。ユニリーフさんの建長寺ブロンズ模型プロジェクトは、私たちの掲げる「共生の社会」「ともに生きる」の実現に向けた、具体的な大きな一歩であることに共感し応援いたします。これからもともに頑張りましょう!!

(パルシステム共済連ささえあい基金 青木恭代様)



視覚障害者は手で触れてわかる範囲しか形を知ることができません。建築物などは、いくら言葉を尽くしても想像の範囲にとどまり、知識として、教養として確実なものとはいえません。建長寺仏殿の精巧なさわられるブロンズ模型を製作し、実際の仏殿の前の屋外に設置されるというこのたびの取り組みは、訪れる多くの視覚障害者にたいへん喜ばれることと思います。

(日本点字図書館附属ふれる博物館館長 伊藤宣真様)



私は、視覚に障害のある子どもたちの教育に長年携わってきましたが、子どもたちと関わる中で、実際に体験すること、触ってみることの大切さを実感してきました。「ことば」は聞いたことがあっても、実際に見たことがない、触った経験がないことも多いものです。特に、大きな建造物、反対に小さな生き物、遠方の物、危険を伴う物などは、触ることがとても難しいものです。そして、触っている子どもたちから、「ここがちょっとへこんでいるよ」、「厚みがだんだん増している感じがする」といったように、視覚では気づけなかった、見過ごしていたことを教えられることもしばしばでした。

(前筑波大学附属視覚特別支援学校校長 星祐子様)



先日、建長寺境内にて試作版の樹脂製模型を触らせていただきました。既に精巧な仕上がりとなっており、硬質なブロンズでの完成が楽しみです。また、今回本物の木造の仏殿を見学させていただき、その外壁にも触れることができました。こちらの外壁からは木材が幾月年を風雨に晒されてきた有様が、まさに肌で伝わります。このような仏殿から受ける印象を、さらにブロンズ模型で佇まいを知ること、確かなもののできる、その日が待ち遠しいです。目の見えるみなさんにとっても新しい体験を与えてくれるものと考えています。

(大学入試センター教授 南谷和範様)



## Special thanks to:

鎌倉市観光協会様、鎌倉市社会福祉協議会様

アイネット地域振興財団様、パルシステム共済連様  
キクシマSDGs基金様、かまくらファンド様

東京大学教授腰原幹雄様  
株式会社JMC様、株式会社カスタム様  
中谷石材株式会社様

国際ソロプチミスト逗子・葉山様  
ワイズメンズクラブ国際協会鎌倉クラブ様  
ワイズメンズクラブ国際協会横浜とつかクラブ様  
湘南眼科学会様

エム・ティ・プランニング株式会社様  
点訳きつつき様

いつもプロジェクトを支え、  
「徳」というものを身を以て教えてくださった  
大本山建長寺宗務総長長尾宏道様

そして、お心を寄せてくださった全てのお一人一人に  
心より御礼申し上げます

令和6年4月  
建長寺“さわる”模型プロジェクトチーム  
代表 大下利栄子 チーム一同

(この冊子はエム・ティ・プランニング株式会社様のデザイン支援により制作されました)

### さわる模型

(仏殿五十分の一模型)

さわるための模型です。目を閉じて、両手でじっくりとさわってみてください。手のひらから目には見えなかったものが見えてきませんか。

この模型は、見えなくても旅の感動を共有できるように、盲目の娘を持つ一人の母の夢に五百名の市民が共鳴し作られました。模型にさわることで建物が見えてくるようになります。

見える人も見えない人も隔てなく模型を囲み喜びや発見を分かち合う。そんな誰もが共に生きる未来への道を照らす灯として、模型はここにたえずみ、歩みを見届けてくれるでしょう。

見えなくても旅の感動を一緒に


令和六年四月

Touch the Architecture: Kenchoji Temple (1:50 scale)

This is a miniature bronze model of the main hall of Kenchoji temple that you can explore using your hands. Take a moment to close your eyes and touch the model. Feeling the model will allow you to "see" aspects of the hall that you would miss by merely looking at it with the naked eye.

500 people contributed to funding this project. They sympathized with the dream of a mother with a blind daughter. Her dream is to create a world in which people with and without visual impairment can share the excitement of traveling and visiting special places.

We hope that this model offers a ray of hope and lights the path to an inclusive future world where everyone can share the joy of life together, whether you have a disability or not. Let's share the wonder of travel with visually impaired people.



(Many thanks to Suzu Sato, Chikako Mano and John Pak for their translation)



# ユニバーサルへの歩み ~絵本と模型と~

- 1999年2月 ニ女が目のがんで失明、社会の拒絶を経験する
- 2004年4月 全盲児第一号で地域の小学校に通う  
準備と工夫で何でも皆と一緒に活動する
- 2008年7月 英国発祥ユニバーサルデザイン絵本製作活動開始
- 2010年3月 「彼女と過ごしたことは子供たちにとって財産」  
卒業時の学校の言葉に、時と場の共有、「慣れ」こそが大切と学ぶ
- 2011年12月 県立返子高校授業でユニバーサル絵本製作講座開始
- 2014年11月 ポルトガルの世界遺産ベレンの塔でブロンズ模型と出会う。  
娘と旅する時の一抹の寂しさを払拭してくれる、一緒に楽しめるかと大感激!  
日本で実現することが夢になる
- 2019年5月 活動11年でユニバーサル絵本蔵書1000冊到達  
毎月40家庭団体に定期貸出 内閣総理大臣表彰受賞
- 2020年3月 コロナ禍、模型事業に着手
- 2020年10月 藤沢市と協働、江の島模型「五感で楽しむ江の島ユニバーサル観光事業」断念
- 2021年8月 鎌倉地形模型「鎌倉ユニバーサルジオラマ事業」断念
- 2021年11月 アイネット地域振興財団の仲介で鎌倉市にご説明
- 2022年1月 高德院様、建長寺様にご説明  
建長寺様がその場でご了承くださり一歩を踏み出す
- 2022年9月 仏殿1/50模型制作で決定、サイズ確認模型完成
- 2022年10月 模型生みの親、ドイツ彫刻家 Mr.Broerkenとつながる  
キクシマSDGs基金、かまくらファンド助成採択
- 2022年11月 かまくら市民活動フェスティバルで活動紹介
- 2022年12月 庵治石視察
- 2023年2月 鎌倉青年会議所と協同イベント  
パルシステム共済連助成採択
- 2023年6月 樹脂製試作模型完成
- 2023年6月~ 当事者ヒアリングと境内模型紹介、部分試作・検討をさらに重ねる
- 2023年6~7月 クラウドファンディング実施、130%達成
- 2024年2月 本制作スタート
- 2024年4月 建長寺さわる模型完成! お披露目式典



境内模型紹介



当事者ヒアリング



クラウドファンディング打ち合わせ



朝日新聞

建長寺さわる模型完成!

2024



かまくらファンド審査会



市民活動フェスティバル



部分試作



樹脂模型



NHKニュースで絵本紹介

2022



部分試作

2021



サイズ確認模型

2019



湘南ビーチFM

2014



内閣総理大臣表彰受賞



夢の始まり!ベレンの塔

2010



鎌倉市にご説明



建長寺様ご僧侶と

2008



絵本製作講座



失明



ユニバーサル絵本活動開始



「彼女と過ごしたことは子供たちにとって財産」  
言葉が糧に!

1998

【お問合せ】ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf  
 info@unileaf.org HP https://unileaf.org

